

MZ-2800

エミュレーションソフト マニュアル

シャープ株式会社

はじめに

エミュレーションソフトは、MZ-2861と特定の機種の違いをソフトウェアでカバーすることにより他機種の一部アプリケーションソフトウェアをMZ-2861上で動作させることが可能です。

1. 使用方法

1.1 エミュレータディスクの作成

エミュレーションソフトを使用するためには、次の手順によりエミュレータディスクを作成する必要があります。

- ① 新しい3.5インチ2HDのフロッピーディスクを用意下さい。
- ② MS-DOSディスクをドライブAに挿入し、起動させます。
- ③ 新しいフロッピーディスクをドライブBに挿入し、MS-DOSのFORMATコマンドでフォーマットをします。

```
A>FORMAT B:/S
```

- ④ ドライブAのフロッピーディスクを“日本語ワードプロセッサシステムディスク1”に差し替えます。フォーマットされたフロッピーディスクに次のように、“MZEX.EXE”ファイルをCOPYコマンドを使ってコピーします。
これにより作成されたBドライブ上のフロッピーディスクを“エミュレーターディスク”と呼びます。

```
A>COPY A:MZEX.EXE B:MZEX.EXE
```

〔注 意〕

エミュレータディスク上には、システム構築ファイル(CONFIG.SYS)を作成しないでください。

1.2 アプリケーションソフトウェアディスクの準備

- ① 使用しようとするアプリケーションソフトウェアディスク上にCOMMAND.COMファイルがあるかどうか確認します(DIRコマンド)。MS-DOSのバージョン 2.11 以上のものがが必要です。なければMZ-2861のCOMMAND.COMファイルをアプリケーションソフトウェアディスクへコピーします。

- ② そのアプリケーションソフトウェアでマウスを使っているかどうか確認します。使っていれば次のようにしてアプリケーションソフトウェアディスク上にマウスドライバをコピーします。使っていなければ準備作業はこれでおわりです。マウスにはいろいろな種類のものがあります。ここではMS-DOS標準のマウスドライバとASCII社仕様のマウスドライバが用意されています。

MS-DOS標準マウスドライバを使用する場合

ドライブBにアプリケーションソフトウェアを入れMOUSE.EMUをアプリケーションソフトウェアディスクにコピーします。

(例) A>COPY MOUSE.EMU B:MOUSE.SYS

ASCII社仕様のマウスドライバを使用する場合

MOUSE2.EMUまたはMOUSE3.EMUをアプリケーションソフトウェアディスクへコピーします。

(例) A>COPY MOUSE2.EMU B:MD23C.SYS

〔注 意〕

- アプリケーションソフトウェアディスクにあるMOUSE.SYSは必要になる可能性があるのであらかじめRENAMEコマンドでファイル名を変更しておいてください。

(例) A>RENAME MOUSE.SYS MOUSE.ORG

A>RENAME B:MD23C.SYS MD23C.ORG

- MOUSE2.EMUとMOUSE3.EMUの仕様はカーソル表示方法が異なるだけで他は同一です。適切な方を使用してください。

1.3 エミュレータディスクの起動

- ① 電源スイッチを入れる。
- ② “エミュレータディスク”をドライブA:に入れIPLボタンを押してシステムを起動させます。
- ③ 2章で説明する書式にしたがい、“MZEX”に必要なスイッチを付けて入力します。
- ④ CRT画面に表示されたメッセージにしたがい、使用するアプリケーションソフトウェアが入った特定の機種種のシステムディスクと入れ換えます。
- ⑤ どれかのキーを押すことにより、エミュレーターソフト上で使用したいアプリケーションソフトウェアが動作できるようになります。

2. 書 式

〔書式〕 MZEX (P)(B)(I)

〔解説〕 どのレベルでエミュレーションを行うかスイッチで指定します。各スイッチはつぎのような機能を持っています。

P プリンタエミュレーション

プリンタエミュレーションを行うことの指定を行います。

このスイッチはエミュレーションの途中でも変更することができます。

〔アルゴ〕+(P)：Pスイッチを有効にします。

エミュレーションソフトウェアでは、Pスイッチを有効にすることによりMZシリーズのプリンタ MZ-1P18A、MZ-1P19Aが使用できます。MZ-1P18Aを使う場合は、アプリケーションソフトウェアでのプリンタの設定を“NM9300S”、MZ-1P19Aを使う場合は、プリンタの設定を“NM9400S”にしてください。アプリケーションソフトウェアは“NM9300S”、“NM9400S”というプリンタへ出力する形をとりますが、実際には、MZ-1P18AまたはMZ-1P19Aが解読できるコードへ変換して出力されます。

〔取消〕+(P)：Pスイッチを無効にします。

アプリケーションソフトウェアが出力するデータをそのままアプリケーションソフトウェアで設定したプリンタへ出力します。

B ハードウェアアクセスのエミュレーションを行います。このスイッチを指定すると処理速度は低下します。I/OをアクセスするアプリケーションソフトウェアでもI/Oをアクセスしないことがわかっている部分についてスイッチを無効にすることにより処理速度を向上させることもできます。

〔アルゴ〕+(B)：Bスイッチを有効にします。

〔取消〕+(B)：Bスイッチを無効にします。

I Iスイッチを指定するとMZEXはMZ-2861用のシステム(MS-DOS)を起動させます。したがって、アプリケーションプログラムディスクにMS-DOS存在する必要はありませんがCOMMAND.COMは存在しなければなりません。